

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	数研出版『現代の国語』				
副教材等	いいづな書店『現代文単語 げんたん 改訂版』 尚文出版『3ステップオリジナル問題集 現代の国語の基礎学習』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①広い知識と科学的思考に裏付けられ、事に臨んで適切な判断ができる人間に育てる。 ②強靱な体力と不屈の忍耐力を持ち、信念を持って行動するたくましい人間に育てる。 ③相手の立場に立って物事を考え、人の心を汲み取って思いやる温かい人間に育てる。
カリキュラム・ポリシー	①1・2学年では全員が共通の科目を学び、広く基礎的な知識・技能を身につけます。 ②3学年では選択科目を多く設置し、個々の興味・関心を進路目標に合わせ科目を選択し学びます。 ③授業第一主義とし、主体的・対話的で深い学びの授業、ICTを積極的に活用しわかりやすい授業を実践します。 ④長岡市との「探究学習の推進に関する連携協定」のもと、地域の大学、企業、行政と連携し、地域資源を活用した生徒主体の探究活動を実践します。 ⑤学校行事や部活動では、安全安心な環境を整備し、生徒の主体的な活動を支援します。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得や文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ② 様々な作品を通して、優れた表現や作者（筆者）の価値観に触れ、感性を磨き、思考力を深めるとともに、自分の気持ちや考えを表現できる力を育てることを目指します。
- ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト、課題考査、定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト、課題考査、定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・リフレクションシートの分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・リフレクションシートの分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、 各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	社会と文化	3 「C 読むこと」	内田樹 「コミュニケーション能力とは何か」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	3	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	実用の文章1	2 「B 書くこと」	複数の資料を読み比べて考えをまとめる	・異なるメディアに掲載された記事を読み、内容を要約する。 ・テーマに沿った記事を探し、共通点や相違点をまとめる。	2	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
5	社会と文化	2 「C 読むこと」 2 「A 話すこと・聞くこと」	山崎正和 「水の東西」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) リフレクションシート (記述の確認)
	定期考査				1	
6	問題を提起する	3 「B 書くこと」 1 「A 話すこと・聞くこと」	山極寿一 「感情暴走社会の由来」	・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	技術・社会	5 「A 話すこと・聞くこと」	戸谷洋志 「未来世代への脅威」	・段落同士のつながりを意識しながら読解する。 ・積極的に単元の学習を生かしながら、具体と抽象を意識して、筆者の主張を理解する。	5	ワークシート (記述の点検) リフレクションシート (記述の確認)
	賛否を述べる	3 「B 書くこと」 1 「A 話すこと・聞くこと」	中屋敷均 「科学と非科学」	・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)

		実用の文章2	2 「B 書くこと」	資料を分析して考えをまとめる	・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に説明を書こうとしている。	2	ワークシート (記述の点検) リフレクションシート (記述の確認)
	7	定期考査				1	
		新しい視点	2 「C 読むこと」 2 「A 話すこと・聞くこと」	梶井厚志 「わらしべ長者の経済学」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	8	実用の文章3	2 「B 書くこと」	目的に合わせて表現を工夫する	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。	2	ワークシート (記述の点検) 評価シート (記述の分析)
	9						
		解釈を述べる	3 「B 書くこと」 1 「A 話すこと・聞くこと」	野矢茂樹 「事実なのか 考えなのか」	・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
		定期考査				1	
	10	日本語の多様性	2 「A 話すこと・聞くこと」	課題を発見し解決策を発表する	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	2	ワークシート (記述の点検) 評価シート (記述の分析)
	11	近代化と人間	3 「C 読むこと」 1 「A 話すこと・聞くこと」	内山節 「時間と自由の関係について」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
		対比する	4 「B 書くこと」	柳澤桂子 「命は誰のものなのか」	・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
		定期考査				1	
	12	実用の文章	3 「A 話すこと・聞くこと」	4 コミュニケーションの手段を考える	・口頭での言語の運用において、言語以外の方法による非言語コミュニケーションが伴うことを再確認し、非言語コミュニケーションの分野の概括的な知識を身につけようとする。 ・外国人による諸々の動作が日本人にどのような印象を与えるかに関して、意見を述べようとする。	3	ワークシート (記述の点検) リフレクションシート (記述の確認)

	1	意見を述べる	4 「B 書くこと」 1 「A 話すこと・聞くこと」	森岡正博 「無痛化する社会のゆくえ」	・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	5	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
		関連づける	3 「B 書くこと」	榎木野衣 「絵を前に思いをめぐらす」	・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	3	ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) リフレクションシート (記述の確認)
	2	定期考査				1	
		認識の枠組み	2 「C 読むこと」 2 「B 書くこと」	鷲田清一 「他者を理解すること」	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	4	ワークシート (記述の点検) 評価シート (記述の分析)
	3						

計 64 時間 (55 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 19 時間 (55 分授業)	B 「書くこと」 28 時間 (55 分授業)	C 「読むこと」 12 時間 (55 分授業)
-----------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------

7 課題・提出物等

- ・週末課題を課します。
- ・『現代文単語 げんたん』から毎週小テストを実施します。
- ・单元ごとに、リフレクションシートや評価シートを記入し、提出します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きていくために必要な論理的思考力と判断力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。授業では「話すこと・聞くこと」や、意志を伝えるための「書くこと」の力を向上させるとともに、多様な文章や会話から「読むこと」を身につける学習をしていきます。意欲的に取り組み、楽しみながら、力を伸ばしていきましょう。
(担当：今井 恭子)